

令和5年度学校評価の振り返りと今後の対応について

学校経営の基本方針		取組の重点	取組と成果	課題と今後の対応
「活力」と「学力」未来に生きていく自信づくり	経営基盤	学校設置管理目標	<p>○学校経営において大切にしたいこと、めざす生徒像について、視覚化したり、目標に応じた行動を繰り返し伝えたりした。生徒は校長の講話を取り入れた活動や生徒会からのメッセージの工夫をしてくれた。</p> <p>○各教室、職員室前で毎朝のように書かれた黒板メッセージは、生徒たちにめざす生徒像に向けての行動や意識をわかりやすく伝えることができた。○安全点検を定期的に行い、早期の修繕に努めている。</p> <p>○非常階段の老朽化があり、市教委に危険箇所の修理をしてもらった。</p>	<p>○学校だよりやホームページでの啓発を続け、保護者、地域の方との連携、理解の深化を図っていききたい。</p> <p>○学級だよりを期待する声が多く、継続できる頻度で検討していききたい。</p> <p>○トイレの数に生徒たちは不満を覚えるところがあるが、そうじを丁寧に言い、使いやすさに努めていききたい。そのためにも校舎への愛着が育つ取組、清掃指導に努めたい。</p>
	活力	一人ひとりが安心して過ごせる学校	<p>人権教育の推進</p> <p>○人権教育講演会を生徒会集会和兼ねて行った。今年度の内容はわかりやすく、生徒によく伝わった。人権に関する内容は、日頃からの啓発とわかりやすいメッセージの両輪で今後も推進していききたい。</p> <p>○日々の生活や行事の振り返りを充実させることで、自分や他者の良さを見つける生徒が増えつつある。</p> <p>○人権週間に職員が生徒にミニ講話を行い、様々な人権課題に関する意識や関心を高めた。</p>	<p>○生徒のSNSの使い方や生徒間の人間関係において、課題を感じられることがあるとの声をいただいている。情報モラルについての生徒対象の研修は引き続き行っていききたい。生徒理解に努め、人間関係の把握と早期対応に努めていききたい。</p> <p>○教職員は一緒に考えてくれるという項目について概ね肯定的な回答はもらっているが、今後も積極的に生徒の頑張る姿をみつけ、言葉で伝えていくことを大切に、相談しやすさを図っていききたい。</p>
		学力	<p>積極的な生徒指導の推進</p> <p>○あいさつや規範意識に関する生徒の意識はあがってきている。生活委員会と連携を図り、主体的な取組により、学校生活が落ち着いたものになっていくようにしたい。</p> <p>○各種アンケートや教育相談、きずなノート等を通して、いじめや人間関係のトラブルの早期発見に努めた。しかし、生徒の人間関係は日々変化もあるため、今後も日常的な取組を大切にしていきたい。</p> <p>○生徒会活動には、意欲的に取り組む生徒が多く、学校行事も主体性をもって取り組んでいた。全校生徒が取り組める活動となる課題があり、その点について新生徒会が頑張ろうとしてくれている。</p> <p>○掃除をきちんとし、よりよい環境で生活したいとする生徒の声もあり、清掃指導については、さらに充実させていく必要を感じている。</p> <p>○自学室、適応指導教室（あすなろ教室）、他機関等を利用して学習できる環境を整えていくことに努めたが、継続して生徒の本人の願いを理解しながら、保護者の方と連携を図っていききたい。</p>	<p>○生徒自身の規範意識や交通マナーに関する自己評価は高く、意識の向上が見られた。しかし、公共施設の使い方についてご意見をいただくことがあり、その場にふさわしい声の大きさや態度について具体的に指導していききたい。この点については、ご家庭でも指導をお願いしたい。</p> <p>○感染症等で欠席が続くこと場合があり、オンライン授業等を希望される声があった。授業と並行して校内で対応できる人員がいなかった等があり、なかなか実現ができていない。休んでいる生徒に、授業の様子が伝わるように実態に応じて工夫をしていきたい。</p> <p>○情報モラルに関する研修会を行ったが、保護者の方への参加は少なかった。SNSは家庭で使うことが多いため、保護者の方への啓発に努めていききたい。</p> <p>○生徒会が生徒全員で活動をして学校生活をよりよくしていこうとする意識をもってくれている。特に行事等は生徒会と連携を図り、主体的、自立的な取組となるようにしていきたい。</p>
	学力	<p>高い向上心と諸活動への意欲あふれる活気に満ちた学校</p> <p>確かな学力の育成</p> <p>○理数教科を中心に校内研修を重ね、授業力向上に努めている。また、いずれの教科も視覚支援を活用し、取り組みやすさを図ったり、タブレットを活用し、学びを共有したりしている。これらの取組をより一層充実させたい。</p> <p>○5教科の基礎テストを定期的に全校で行っている。このテストへの取組について、だんだんと意識が高まってきていた。</p> <p>○図書館を活用した授業により、言葉や文字を通して、思考力、情報活用能力を高めることに取り組んでいるが、取組に教科によってばらつきがあり、計画的な図書館活用に努めたい。</p> <p>○生活習慣のチェックをタブレットを使って行い、自己の課題をみつけるようにした。自己理解をさせていくことを継続して大切にしたい。</p> <p>○総合的な学習の時間に限らず、生徒は話し合ったり、発表をしたりすることに肯定的な傾向がある。経験を重ねてきた成果でもあると考えるが、課題設定については発達に即してもっと深めていく必要を感じている。</p>	<p>○テスト後の提出物等の課題をどの学年もきちんとやり遂げる様子がある。しかし、家庭学習の時間の定着に課題がある。宿題について、次の授業につながるものにする、自学の仕方を各学年で確認すること等に再度取り組んでいききたい。</p> <p>○5教科の基礎テストについては継続して実施し、基礎の定着を図っていききたい。</p> <p>○保護者さんの回答から、将来について考える様子が家庭では見えにくいことがわかった。生徒たちの回答からは、学年があがるにつれて将来について具体的に考えていく傾向が見えた。系統的なキャリア教育により、自己理解を深め、また長所を子どもたちが見つけていく振り返りを行っていききたい。</p> <p>○部活動について、概ね肯定的な回答をいただいている。しかし、部活動は苦しい場面もあるため、指導の中の声かけで子どもたちの気持ちも変化しやすいことを十分に考え、部活動場面の言葉について配慮していくことを確認した。また、部活動は全国的に地域移行が検討される等、過渡期にあり、校外からの指導や支援をもらう機会が増えている。その場合、十分に情報を共有して部活動の運営にあたっていくことを校内、外部の方とも再度確認したところだが、保護者の方にも過渡期にあることへのご理解と共に引き続きご支援をお願いしたい。</p>	
経営資源・土台	<p>愛される学校</p> <p>地域と共により、地域から信頼される学校</p> <p>家庭・地域との連携、協働</p> <p>業務改善の推進</p> <p>サービス管理</p>	<p>○成績処理、諸帳簿の管理、会計処理については、校内でチェックできる体制を整え、適切に行っている。この体制を引き続き、整えていききたい。</p> <p>○保護者や地域との連携のため、メールやホームページで様々な告知等を行っている。このことに情報が確実に伝わる等の肯定的な声をいただいたが、同時にメールの数を減らしてほしいとの声もいただいた。</p> <p>○「学校公開ウィークではいつ行っていいのかわからない」「テストと行事の日程を考えてほしい」等のご意見をいただいた。文化祭や学校公開日を土日にしたことについて、来校しやすくてよかったという声もいただいた。これらのお声を整理していききたい。</p> <p>○節約による保護者負担の軽減、時間を選ばずに連絡ができること等から、ペーパーレス化、欠席等の連絡の電子化を進めている。</p>	<p>○学校公開日の設定についていただいたご意見をもとに「公開ウィーク」ではなく、「公開日」とし、来校しやすさを工夫していききたい。</p> <p>○テストに集中して取り組めるよう行事の精選や日程調整を行っていききたい。</p> <p>○メールについては、内容をわかりやすくすること、回数を減らすことに1月より取り組んでいる。しかし、情報を確実に保護者に届けたいため、メールの活用についてはご理解いただきたい。また、物価高にあるため、紙代も節約していききたい。そのため、内容によってはメールのみのお知らせとすることをご理解いただきたい。</p> <p>○教職員の働き方改革が全国的にも話題になっている状況の中であり、電話等の連絡が必要な場合、学校からは極力勤務時間内に発信することをご理解いただきたい。</p>	